

各報道機関 様

KJ00512943
2025年9月10日

発信課	社会教育部 博物館
担当者	向井
連絡先	電 話 69-2004
	F A X 69-2001
	E-mail m_mukai@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和7年9月27日 9時00分 ～ 令和7年10月26日 17時00分
発表項目 (行事名)	旭川市博物館第102回企画展「移りゆく街・旭川」の開催について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	旭川市博物館第102回企画展「移りゆく街・旭川」 1 会期 令和7年9月27日(土)～令和7年10月26日(日) 29日間(10月14日(火)は休館日) 2 展示場所 旭川市博物館 特別展示室 (旭川市神楽3条7丁目) 3 対象 来館者すべて 4 開催趣旨及び展示構成 フォト集団「北限」は、1965年(昭和40年)に市内在住のアマチュア写真家を中心に結成され今年で60周年を迎える団体。 旭川という郷土をテーマに市街の移り変わりとそこで生活する人々を写真で記録する活動が続けている。 今回の企画展では、旭川市博物館が収蔵する昭和40年代から平成に至るまでの旭川市の風景や人々の生活を記録した写真パネルの他にこの10年間の記録として平成から令和への移り変わり、そして新時代に向けて、1「生活・暮らしの移り変わり」、2「街・環境の移り変わり」、3「時事・記憶・記録」の3つのテーマに基づいた写真パネル展示を行う。 5 その他 常設展示室の観覧料が必要。
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道(取材)に当たってのお願い	今回は、北限の会員の方々がパネルの設置をはじめ、ほとんどの展示の設営にあたります。設営する日は、主に9月中の土曜日・日曜日に行います。場所は旭川市博物館(神楽3-7)特別展示室となります。展示設営作業をしている時に「北限」の会員の方々から、実際にシャッターを押したその瞬間の思い出などを聴くことができると思います。
備 考	

旭川市博物館 第102回企画展

移りゆく街・旭川



カメラがとらえた街の記憶と息づかい
〜結成60年を迎えるフォト集団「北限」の写真で振り返る旭川の移り変わり

昭和45年（1970年）4月 渋滞続く（4条通5丁目）

会期

2025. 9.27 sat ~
10.26 sun

※ 10月14日(火)は休館日

アイヌの歴史と文化に会う
旭川市博物館
Asahikawa City Museum



<開館時間>午前9時〜午後5時(入館受付は午後4時30分まで)

<観覧料>常設展示室の観覧料が必要です。
一般 350(280)円 / 高校生 230(180)円
中学生以下は無料 ※ ()内は20人以上の団体料金
※ただし、満70歳以上の旭川市民は170円

※次の方は、観覧料が免除になります。団体観覧及び学校行事等
による児童生徒の引率者/要介護者とその介助者/心身に障がい
のある方とその介助者

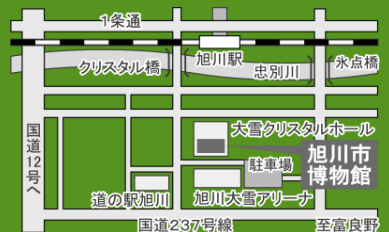
<アクセス>

■ 徒歩 JR旭川駅南口西側からクリスタル橋経由で約800m、約10分。

■ バス 「大雪クリスタルホール前」バス停下車(旭川電気軌道93番 道北バス443番)、「神楽4条7丁目」バス停下車(旭川電気軌道80番、81番 道北バス39番、43番)

■ タクシー JR旭川駅から約5分

<案内図>



〒070-8003 旭川市神楽3条7丁目 旭川市大雪クリスタルホール内 TEL 0166-69-2004

旭川市博物館 第102回企画展「移りゆく街・旭川」

旭川の記憶を撮影し続けてきたフォト集団「北限」の写真で振り返る企画展

写真と云うと、どうしても道楽的趣味のように一般に思われているが、現在の写真は社会と密着した一つの運動にまで発展しなければならない時代であり、吾々はこの北国の厳しい条件の中で自分等の生活を築き上げていく、人間の異常なエネルギーをカメラを通じて見つめて行きたいと願っている。

北限の言葉の中にはそんな気持ちを託してつけたものである。

(フォト集団「北限」『創立のことば』より)



昭和40年(1965年)4月 寒さで傷んだ歩道(平和通り)



昭和41年(1966年)5月 アサヒビル屋上にて(宮下通8丁目)



昭和45年(1970年)12月 歳の市(4条通18丁目)



令和6年(2024年)12月 レンガ庁舎解体(新庁舎7Fより)

関連企画「ギャラリートーク」

フォト集団「北限」・結成60周年

日時:令和7年10月5日(日)、10月19日(日)

いずれも14:00~(1時間程度)

場所:旭川市博物館(神楽3-7) 郷土学習室

講師:フォト集団「北限」会員 小沢 和雄さん

内容:『北限のカメラを通じた旭川の記録』と題し、会の歴史を交えながら60年にわたる街の移り変わりの様子を写真をご覧いただきながら語ります。

対象:どなたでも

人数:40名(当日、直接会場にお越しください)

1965(昭和40)年結成以降、「郷土」をテーマに地元旭川で芸術性の高い記録写真を撮影し続け現在に至る。

【会員】

飯村 育子、太田ゆみ子、岡部 裕子、小倉 朝一、小沢 和雄、河合 剛俊、佐藤 教正、島田千路代、丹野 律子、鳥羽 孝夫、中根 実、中野 常之、名古屋翔大、平舘 亮一、平間 明鑑、渡辺 春美、山本 愛美

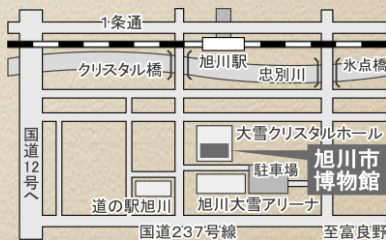
(以上17名)

会期
2025. 9.27 sat~
10.26 sun

10月14日(火)は休館日

アイヌの歴史と文化に出会う

旭川市博物館
Asahikawa City Museum



<アクセス>

■ 徒歩

JR旭川駅南口西側からクリスタル橋経由で約800メートル、約10分。

■ バス

「大雪クリスタルホール前」バス停下車(旭川電気軌道93番 道北バス443番)
「神楽4条7丁目」バス停下車(旭川電気軌道80番、81番 道北バス39番、43番)

■ タクシー

JR旭川駅から約5分
※駐車場は隣接する旭川大雪アリーナの裏側にございます。